

学校点描 +

プラス

今年からスクールバスに中学生も乗車できるようになりました。路線によっては登校時間ぴったりの到着です。

《K中学校》

NO.1

R4. 4. 12

担当：校長

昨年度紙面で掲載できなかったことについて紹介します。

昨年度の英語検定試験5級から準2級まで、83名が挑戦してくれました。中学生で3級以上に合格するには大変な努力が必要です。2次試験には、英語面接もあります。それでも3級の上の準2級には2人も合格しました。そのうち1人は1年生（現2年生）です。

昨年度も母親委員会でランドセルを海外の子どもたちに贈る活動を行っていただきました。ランドセルに文房具や教科書を入れて学校に通う日常の尊さを強く感じます。



裏側にある本音

4月7日（木）

今年の入学式は、直前まで3年ぶりの2年生、3年生が入学式に参加する通常の式を準備していたのですが、K山町内の新型コロナウイルス感染状況を見て断念しました。今年も、この2年間同様に、正解のない問いを解いていかななくてはならないようです。

新入生歓迎の言葉では、生徒会副会長のU・Rさんが、「他者との考えの違いを受け入れることで中学生活が充実します。」と後輩達に語ってくれました。中学2年間を過ごして、そう思うに至った裏側がきっとあるのでしょう。

それに対し、新入生誓いの言葉は、新入生代表としてG・Rさん（M小学校卒）が話してくれました。

「わたしは中学校での目標が3つあります。1つめは勉強です。…2つめは部活です。…そして3つめは仲間を増やすことです。」

慣れない雰囲気の中でも、顔を上げて堂々と話をしてくれる姿に頼もしさを感じます。

この時期スーパーに行くと♪1年生になったら 友達100人できるかな♪と、歌が流れています。やはり、いつの時代も入学生にとっては、仲間をつくるのが大きな期待の1つなんだなあと思いました。

4月8日（金）

今年度2日目の学校生活となりました。3時間目に全校生徒を初めて体育館に入れて、学習面、保健安全面、生徒指導面について、担当の先生からの初発指導を行いました。学習担当のY先生は、話の中で令和3年度の卒業生、T・Nさんが書いたことばを紹介しました。

「失敗することは、恥ずかしいことじゃない。それをバカにすることが恥ずかしいんだな。」

これは、昨年度の3月11日（金）の話になりますが、毎年実施している本校の『いのちと人権の集い』において全校生徒が書いた感想のことばの1つです。

その日は、技術者で実業家である、北海道芦別市出身の植松 努さんの動画を見て考えました。ぼくとつと語る植松さんのお話しには、何か心に染み込むところがあります。



植松さんは、北海道の植松電機という従業員 20 名ほどの会社を運営されている社長さんです。仕事の傍らで、植松さんは小さい頃からの夢であった、宇宙開発事業に携わり、世界で 3 つしかない無重力実験装置を完成させて、そして自作ロケットを打ち上げているんです。

そこに至る裏側のエピソードを紹介した動画です。

植松さんが、ボランティアで児童養護施設を訪れたとき、幼児虐待問題に心を傷め、お金ではこの問題は解決できないと考えました。そこで植松さんは、子どもが絶望することなく、夢をチャレンジするためには、みんなが一度は憧れる“宇宙”にチャレンジするのがいいと思うようになります。「どーせ無理！」という言葉は跳ね返し、夢を実現させれば、いじめも戦争も児童虐待もなくなるかもしれないと考えたのです。この話の背景には、子どもの頃に、担任の先生から夢を否定された悔しさの本音がありました。

この動画をみて抱いた感想のこぼれを、花びらの形の紙に書いてもらったわけです。花びら一つ一つには、中学生がそのとき考えた言葉が残っています。紹介された T さんの他にも、花びらの中にはさまざまな言葉が書き残っています。

K・E さん 私にも夢がありますが、親や兄弟に否定されそうで言えないことがあります。自分で「どーせ無理！」とってしまいます。これからは少しの可能性も信じて夢に向かっていきたいです。」

S・K さん 私も頭の中がぐちゃぐちゃになりがちなので、『ただいま成長中！』すごくいい言葉だと思います。



中学時代は表と裏の思いがぐちゃぐちゃになる時代です。表だけで判断しては本当の生徒の本音に近づくことはできません。

7 日の入学式の R さんの話の続きには、裏側がしっかり語られていました。「…M 小学校の出身者は私を入れて二人しかいません。金山小学校、有屋小学校出身の友達も何名かいますが、親しい人は少ないです。だから、たくさん話をして、お互いのことをよく知り、仲間を増やしていきたいです…。」

この話は、よくある♪友達 100 人できるかな♪とは違いました。

これまで、同学年 2 人だけの小学校生活を送ってきたからこそその本音なのです。

中学生になったことへの希望であり、まだ見ぬ世界に挑戦する宣言です。

人権集会で活用した動画は QR コードから見る事が出来ます

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp